



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月25日

上場会社名 テクノホライゾン株式会社
コード番号 6629 URL <https://www.technohorizon.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野村 拓伸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 加藤 靖博
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 052-823-8551

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	10,768	37.6	269		94		203	
2023年3月期第1四半期	7,827	34.3	537		352		412	

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 366百万円 (%) 2023年3月期第1四半期 162百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	15.06	
2023年3月期第1四半期	30.63	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	35,913	8,307	23.0
2023年3月期	36,903	8,711	23.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 8,252百万円 2023年3月期 8,704百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	9.7	800		600		500		37.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(注)特定子会社の異動に該当しない子会社の異動につきましては、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	21,063,240 株	2023年3月期	21,063,240 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期1Q	7,586,231 株	2023年3月期	7,586,231 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	13,477,009 株	2023年3月期1Q	13,477,009 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、経営環境の変化に着実に対応し、更なる成長と発展を目指し、2023年4月1日から新たな体制がスタートしました。新体制では、役員数を大幅に削減するとともに社内カンパニー制を廃止し、事業内容毎の本部制を導入しました。連結子会社も合併を行う等、組織のスリム化や迅速な意思決定が行える体制へ移行しています。

事業面では、街に暮らす人々が効率よく快適に暮らし働ける場所に変革するために「Techno Horizon Unicity」構想をスタートしました。①学校・教育 ②オフィス ③店舗・住宅 ④交通 ⑤医療・介護施設 ⑥工場の6つの対象エリアに我々が保有している技術、これから生み出す技術でスマート化された暮らしを創造していきます。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、連結範囲の拡大により売上高10,768百万円（前年同四半期比37.6%増）となりました。利益面では、経費削減が進んだことに加えて、円安による為替差益を349百万円計上しました。また、製品保証引当金繰入額を201百万円計上した結果、営業損失269百万円（前年同四半期は営業損失537百万円）、経常利益94百万円（前年同四半期は経常損失352百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失203百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失412百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① 映像&IT事業

主力の教育市場向けの書画カメラや電子黒板の販売においては、国内市場は例年第1四半期連結会計期間では学校の入学時期と重なるため低調となります。また海外では、特にヨーロッパで経費削減が進みました。業務用車載機器（ドライブレコーダ・デジタルタコグラフ）においては、半導体関連部品の調達難の影響が緩和し、出荷が進みました。シンガポールやマレーシアで行うサイバーセキュリティ事業は、企業や政府関連施設の需要が強く増収・増益で推移しました。

これらの結果、映像&IT事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は8,769百万円（前年同四半期比39.5%増）、営業損失は367百万円（前年同四半期は営業損失495百万円）となりました。

② ロボティクス事業

前第3四半期連結会計期間に事業を譲り受けた検査装置事業に加え、前期までは非連結子会社であったApollo Seiko Europe B.V.を当第1四半期より連結の範囲に含めております。

主力であるFA関連機器が、国内市場では比較的堅調な需要がありました。中国では設備投資意欲の後退の影響を受け想定を下回りました。

これらの結果、ロボティクス事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は1,998百万円（前年同四半期比29.8%増）、営業利益は97百万円（前年同四半期は営業損失45百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は26,404百万円となり、前連結会計年度末に比べ981百万円減少いたしました。これは主に商品及び製品が6百万円、原材料及び貯蔵品が626百万円、電子記録債権が80百万円、仕掛品が273百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が1,873百万円減少したことによるものであります。固定資産は9,509百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が242百万円、無形固定資産が256百万円増加した一方で、投資その他の資産が506百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は35,913百万円となり、前連結会計年度末に比べ989百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は22,527百万円となり、前連結会計年度末に比べ231百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が135百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が1,117百万円、賞与引当金が73百万円減少したことによるものであります。固定負債は5,078百万円となり、前連結会計年度末に比べ354百万円減少いたしました。これは主に長期借入金411百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は27,606百万円となり、前連結会計年度末に比べ585百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は8,307百万円となり、前連結会計年度末に比べ403百万円減少いたしました。これは主に為替換算調整勘定が163百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は23.0%（前連結会計年度末は23.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月10日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,683,306	3,717,941
受取手形及び売掛金	11,296,378	9,423,241
電子記録債権	1,215,782	1,296,469
商品及び製品	4,430,548	4,437,035
仕掛品	1,314,332	1,587,986
原材料及び貯蔵品	3,514,196	4,140,291
その他	2,037,788	1,894,348
貸倒引当金	△105,645	△92,544
流動資産合計	27,386,688	26,404,771
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,034,179	1,088,165
土地	2,541,880	2,587,970
その他(純額)	1,178,491	1,320,738
有形固定資産合計	4,754,550	4,996,874
無形固定資産		
のれん	1,454,908	1,722,623
その他	1,539,552	1,528,197
無形固定資産合計	2,994,460	3,250,821
投資その他の資産		
その他	1,807,566	1,301,154
貸倒引当金	△39,752	△39,752
投資その他の資産合計	1,767,814	1,261,402
固定資産合計	9,516,825	9,509,098
資産合計	36,903,513	35,913,870
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,388,381	7,270,897
短期借入金	11,190,648	11,325,902
未払法人税等	261,200	194,071
賞与引当金	247,690	174,537
その他	2,670,888	3,562,296
流動負債合計	22,758,809	22,527,705
固定負債		
長期借入金	4,698,090	4,286,727
退職給付に係る負債	61,881	70,838
その他	673,549	721,327
固定負債合計	5,433,521	5,078,893
負債合計	28,192,331	27,606,598

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,500,000	2,500,000
資本剰余金	3,486,269	3,455,338
利益剰余金	3,108,635	2,850,204
自己株式	△1,917,642	△1,917,642
株主資本合計	7,177,263	6,887,901
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,194	△1,306
為替換算調整勘定	1,528,871	1,365,871
その他の包括利益累計額合計	1,527,676	1,364,564
非支配株主持分	6,241	54,805
純資産合計	8,711,181	8,307,271
負債純資産合計	36,903,513	35,913,870

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	7,827,365	10,768,153
売上原価	6,110,553	8,726,062
売上総利益	1,716,812	2,042,090
販売費及び一般管理費	2,254,134	2,311,476
営業損失(△)	△537,321	△269,385
営業外収益		
受取利息	602	844
受取配当金	2,062	314
為替差益	158,910	349,039
不動産賃貸料	1,737	1,737
助成金収入	20,339	7,999
その他	22,678	27,675
営業外収益合計	206,330	387,609
営業外費用		
支払利息	18,483	15,601
その他	2,767	8,357
営業外費用合計	21,251	23,958
経常利益又は経常損失(△)	△352,242	94,266
特別利益		
固定資産売却益	1,226	—
特別利益合計	1,226	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損	8,373	—
製品保証引当金繰入額	—	201,880
特別損失合計	8,373	201,880
税金等調整前四半期純損失(△)	△359,389	△107,613
法人税等	53,390	88,259
四半期純損失(△)	△412,779	△195,873
非支配株主に帰属する当期純利益	—	7,157
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△412,779	△203,030

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△412,779	△195,873
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,275	△111
為替換算調整勘定	246,005	△170,796
その他の包括利益合計	250,280	△170,907
四半期包括利益	△162,498	△366,780
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△162,498	△375,296
非支配株主に係る包括利益	—	8,515

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

特定子会社の異動には該当していませんが、前連結会計年度において非連結子会社であったApollo Seiko Europe B.Vは重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

特定子会社の異動には該当していませんが、前連結会計年度において非連結子会社であったアジア株式会社はアドワー株式会社と合併したため、連結の範囲に含めております。

特定子会社の異動には該当していませんが、2023年4月25日付でウェルダンシステム株式会社の株式を取得したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。なお、2023年6月30日をみなし取得日としたため、当第1四半期連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、見積実効税率を使用できない会社については、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	映像&IT 事業	ロボティクス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,287,258	1,540,106	7,827,365	—	7,827,365
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,627	2,627	△2,627	—
計	6,287,258	1,542,734	7,829,992	△2,627	7,827,365
セグメント損失(△)	△495,215	△45,340	△540,555	3,233	△537,321

(注) 1. セグメント損失の調整額3,233千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	映像&IT 事業	ロボティクス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,769,551	1,998,602	10,768,153	—	10,768,153
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	66,269	66,269	△66,269	—
計	8,769,551	2,064,871	10,834,423	△66,269	10,768,153
セグメント利益又は損失 (△)	△367,308	97,691	△269,616	231	△269,385

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額231千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった株式会社ケーアイテクノロジーは同じく連結子会社であるアポロ精工株式会社に吸収合併しております。この吸収合併に伴い、従来「映像&IT事業」セグメントにあった株式会社ケーアイテクノロジーは「ロボティクス事業」セグメントに区分変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報はこの組織再編後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。